

市民協働の推進に関する制度（案）に対する
パブリック・コメント手続の実施結果

1 意見・提案の提出期間

令和6年11月23日から12月22日まで

2 意見の提出者等

提出者数	件数	意見の提出方法					
		Eメール	電子申請	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
3	6	0	3	0	0	0	0

3 意見の概要とそれに対する市の考え参考

No.	主な意見	市の考え方
1	<p>本制度における市の責務として、市民協働のより一層の推進を目指すために、7の市の責務(1)及び(2)は、努力義務規定ではなく、次のとおり義務規定に変更する必要があるのではないか。</p> <p>(1) 市は、積極的に市民協働に関する情報を市民等に提供し、市民等が市民協働によるまちづくりについて理解を深める機会を創出するように必要な支援をしなければならない。</p> <p>(2) 市は、市民協働を推進するため、市民等に対し、人的、物的、財政的にできる限りの支援をしなければならない。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、制度骨子の作成においては、市の「責務」をより明確にします。</p> <p>なお、「支援」には、ご指摘の「人的、物的、財政的な支援」が含まれるものと捉えており、「支援」の内容については、市民協働の推進に関する計画において、具体的に記載し、理念的な要素を持つ本制度と相互に補完し合うことで、本市の市民協働の更なる推進を図ってまいります。</p>
2	<p>基本理念にある協働の輪を広げる合言葉は、短い文の方がキャッチコピーとして、目と脳に残る。協働の認知を広げる活動を心から応援する。</p>	<p>市民活動センタープラッツのポータルサイトに登録する団体から「協働の輪を広げるキャッチフレーズ」を募集し、応募があったものから5つの候補を厳選し、市民投票を行った結果、「協働しよう。そうしよう。」が最もふさわしいものとして選ばれました。なお、</p>

		当該フレーズは、本制度が市民により親しみを持っていただけるよう、本制度の通称名「協働しよう。そうしよう。」制度としてPRしてまいります。
3	一人の力では成し遂げられないことも、人と人々が支え合い、応援し合える環境であれば不可能が可能になることを実感している。市と市民、市民団体が手を取り合って、より良い府中市となることを期待する。	本制度を基軸に市民等（市民団体等を含む）と市の協働、あるいは市民等同士による協働を更に推進する環境づくりに努めてまいります。
4	協働を市民に広く知ってもらう工夫として、 ①CMソングのように歌にする ②キャラクターを立てて視認性を高める③資料を漫画風にする、などは効果があると思う。	本制度を基軸に、市民や団体等とともに市民協働を広くPRするに当たり、より効果的な手法を検討してまいります。
5	市から応援してもらっている団体、市に認められている団体という感覚があることで、当該団体や活動する市民がSNS等で自慢したくなる。そういった市民や団体を巻き込むことで、イベントの際は宣伝広告塔になってくれ、お金をかけずとも情報が行き届く市民は爆発的に増えると思う。	当該市民や団体等と一体となって、市民協働を広くPRするに当たり、より効果的な手法を検討してまいります。
6	有識者、専門家と当事者である市民を入れて府中市の不登校問題を話し合う協議会を作ってほしい。府中市では兄弟児不登校がとても多く、不登校の問題を協議して現状を確認し、地域の課題を解決してほしい。	いただいたご意見については、関係課に情報提供させていただきます。